

## 木材価格の推移

	スギ			ホワイトウッド 集成柱 円/本	パルプ向けチップ		合板 針葉樹 円/枚	
	中丸太 円/m <sup>3</sup>	正角 円/本	KD正角 円/本		針葉樹 円/m <sup>3</sup>	広葉樹 円/m <sup>3</sup>		
平成19年	13,000	1,412	2,011	2,130	5,273	9,059	1,360	
平成20年	12,200	1,402	2,034	1,910	5,818	9,995	990	
平成19年	1	13,000	1,399	2,001	2,250	5,091	8,823	1,380
	2	13,300	1,406	2,001	2,300	5,091	8,823	1,420
	3	13,300	1,409	2,004	2,350	5,091	8,941	1,440
	4	13,300	1,419	2,011	2,400	5,227	8,941	1,470
	5	13,300	1,426	2,021	2,400	5,273	9,059	1,500
	6	12,900	1,426	2,024	2,300	5,318	9,059	1,490
	7	12,600	1,422	2,021	2,200	5,318	9,059	1,450
	8	12,800	1,419	2,018	2,100	5,318	9,059	1,360
	9	12,900	1,406	2,011	1,950	5,318	9,059	1,290
	10	12,900	1,402	2,011	1,900	5,364	9,118	1,270
	11	12,800	1,399	2,001	1,750	5,409	9,176	1,210
	12	12,400	1,399	1,998	1,700	5,409	9,235	1,050
平成20年	1	12,800	1,406	2,031	1,850	5,636	9,706	970
	2	12,600	1,402	2,031	1,900	5,500	9,471	960
	3	12,600	1,396	2,024	2,000	5,500	9,588	980
	4	12,200	1,399	2,021	2,000	5,591	9,647	970
	5	12,000	1,399	2,024	1,950	5,773	9,824	960
	6	11,800	1,396	2,024	1,900	5,818	9,882	970
	7	11,700	1,399	2,027	1,850	5,864	9,765	1,010
	8	12,000	1,402	2,031	1,900	5,955	10,118	1,010
	9	12,200	1,402	2,034	1,950	5,955	10,294	1,030
	10	12,400	1,406	2,037	1,930	6,000	10,471	1,040
	11	12,500	1,409	2,061	1,880	6,091	10,529	1,030
	12	12,100	1,406	2,061	1,800	6,136	10,647	990
平成21年	1	11,900	1,406	2,031	1,720	6,273	10,941	910
	2	11,500	1,402	2,014	1,630	6,273	10,941	890
	3	11,000	1,386	1,994	1,500	6,273	10,941	860
	4	10,700	1,386	1,975	1,500	6,227	10,824	850
	5	10,400	1,386	1,971	1,500	6,182	10,824	850
	6	10,300	1,376	1,965	1,500	6,136	10,824	840
	7	10,300	1,373	1,955	1,500	6,091	10,765	830
	8	10,700	1,373	1,955	1,500	6,091	10,765	840
	9	11,000	1,373	1,955	1,500	6,045	10,765	880

資料：農林水産省「木材価格」

# 木材需給及び価格の動向(10月上旬現在)

## ○ 概況

### ① 落札の状況

秋田での落札率が回復し、全地域で9割以上の落札率となった。

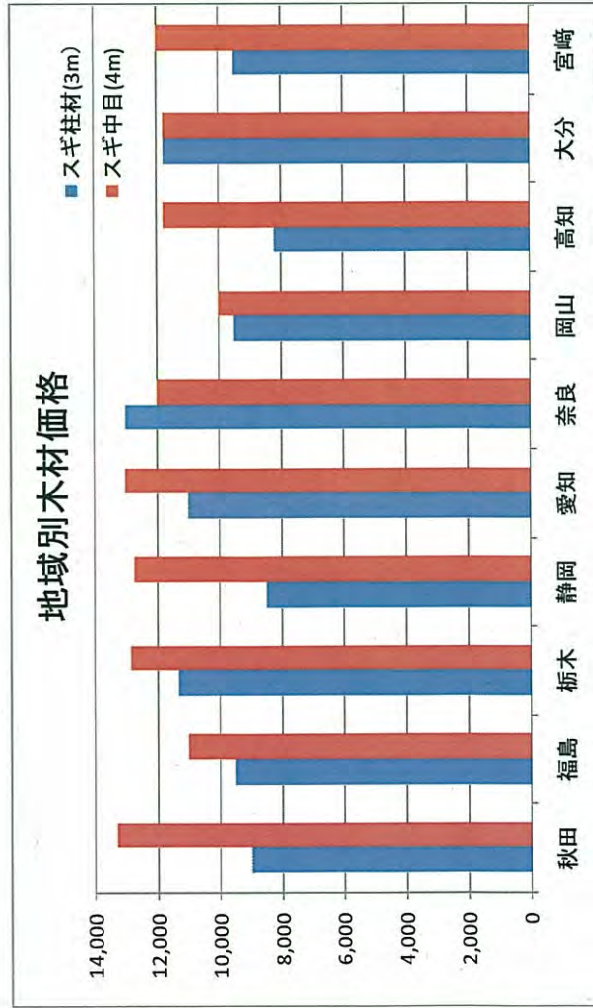
### ② 価格の動向

近畿・中国・四国では、前年比でややマイナスで推移しているものの、他の地域では前月比で横ばいとなり、前年並みを維持している。

### ③ 総括

- ・ 出材は、少なく不足気味であるが、秋需を見込んで多少増加している。
- ・ 価格は、製品市況が回復していないため、保合で推移している。

## ○ 地域別原木価格

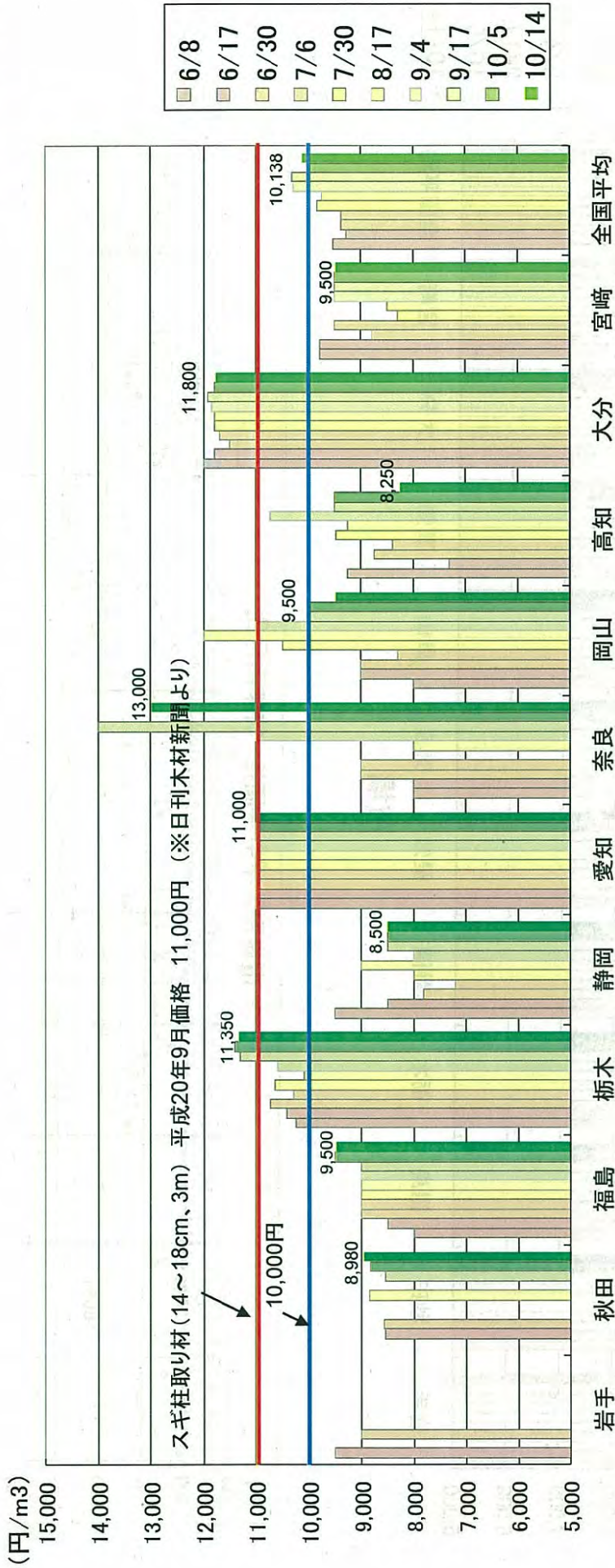


## ○ 各地区の概要

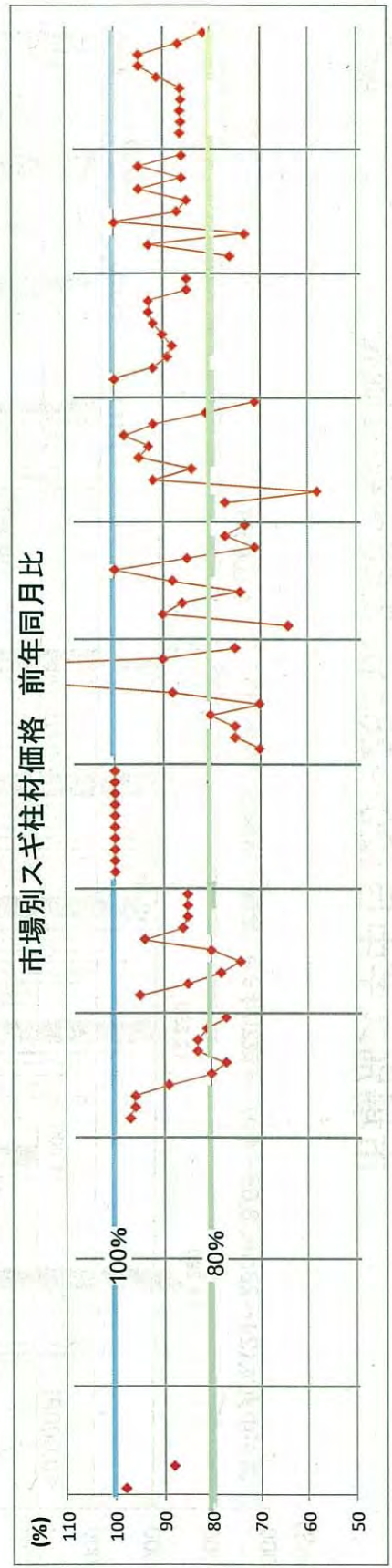
地区名	荷動き	先行	価格動向	先行	備考
東北	応札枚数は少ないものの、満遍なく応札があった。(岩手) 上向きに変化。(福島)	↑	各径級とも横ばいで、ほぼ完売。高齢樹(85年生)の売れ行き良い。(岩手) スギ、ヒノキともに少し上向き。(福島)	↑	
関東	依然、入荷少なく、スギ、ヒノキともに荷動きは良好。	→	値上がりした価格は、調整局面に入り、全面的に保合で推移。	→	
中部	出材が少なく、比較的動きはよい。(静岡) ヒノキ中心に出材が微増。中でも6m通し柱が不足気味。並材は出材少(愛知)	↑	良材に恵まれ、スギ、ヒノキとも保合。(静岡) ヒノキ材は、製品市況が回復しないため保合。スギは安値安定で推移。4m中目材は品薄感があるが、弱含み。(愛知)	→	エコ製品に関心が高まる中で、B、Cの動きが活発しそうである。(静岡)
近畿	量的には横ばい。増える可能性は少ない。	→	前月比で全体的に下げ気味。ヒノキは安値であるが、スギは横ばいで売りやすい。	↓	
中国四国	相場が下降気味となり出荷減少。(岡山) 出荷量さらに減少。産地から特定製材工場への直送が増加(特定銘柄の山元選別仕分け)。(高知)	→	スギはB級材の需要減。化粧材の価格下降のため良材も低調。ヒノキ良材は当用買。並材は弱気配。(岡山) ヒノキは値下がり。(高知)	→	
九州	前月比で出品は減少したものの買い気は旺盛。(大分) 入荷は順調。(宮崎)	→	ほぼ横ばい。(大分) 製品市況により物によっては値下がり。(宮崎)	→	雨天が続いたため、前回に比べ出材量が減少。(大分)

# 市場別スギ柱材(14~20cm、3m)価格

平成21年10月20日  
林野庁 木材産業課

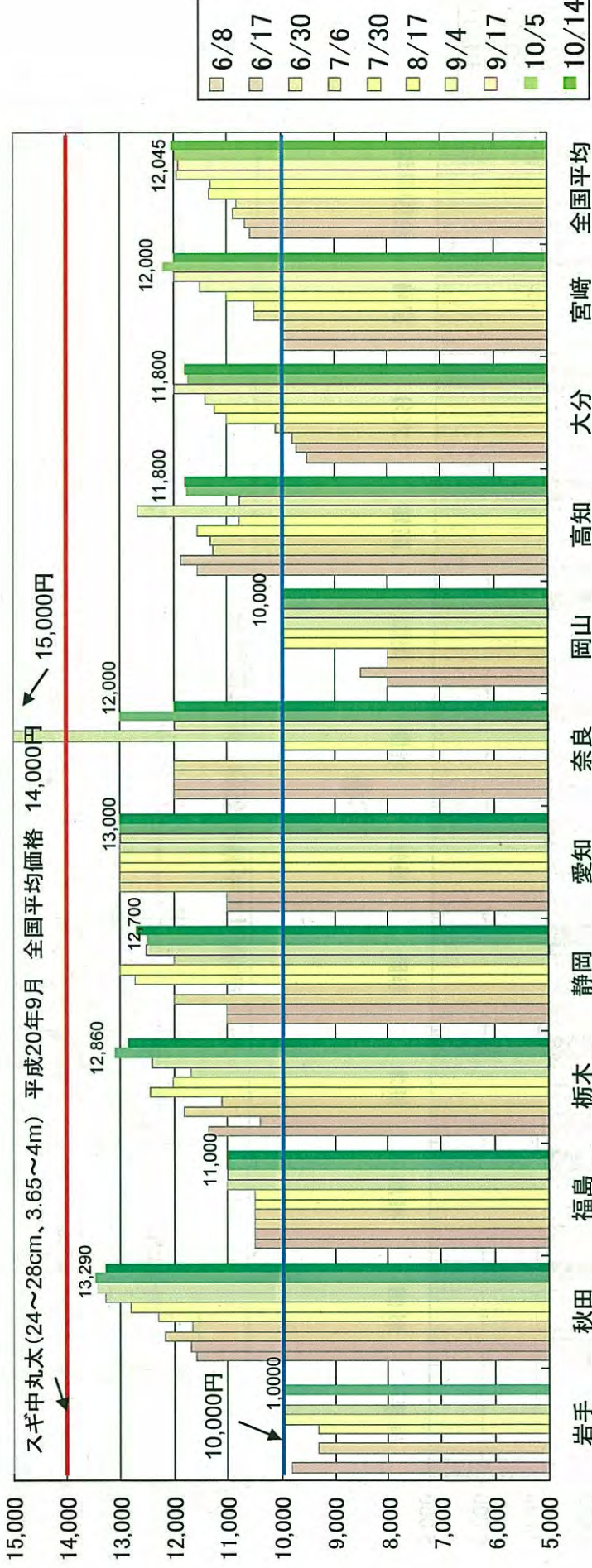


## 市場

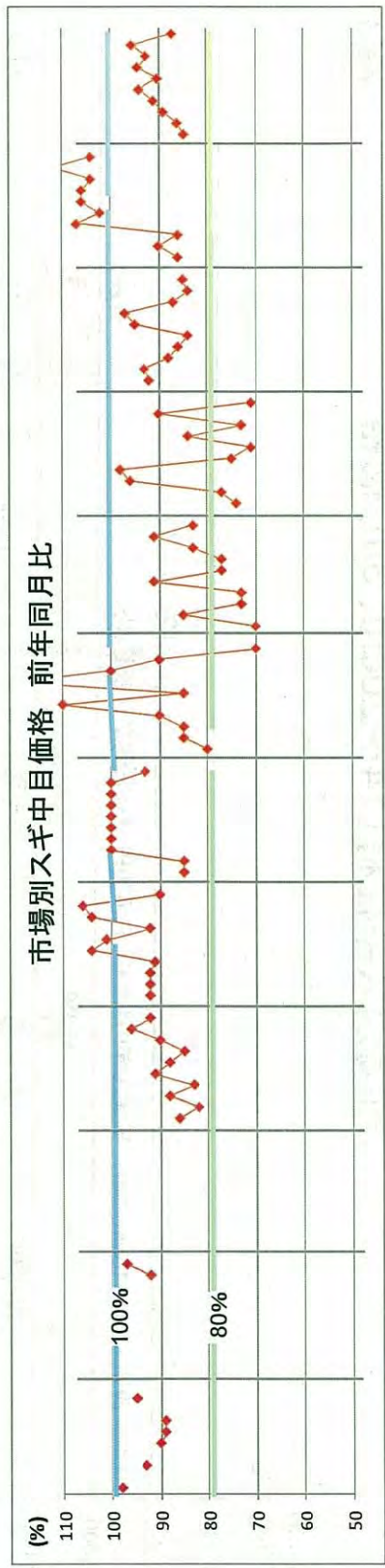


# 市場別スギ中目(20~28cm、3.65~4m)価格

(円/m3)

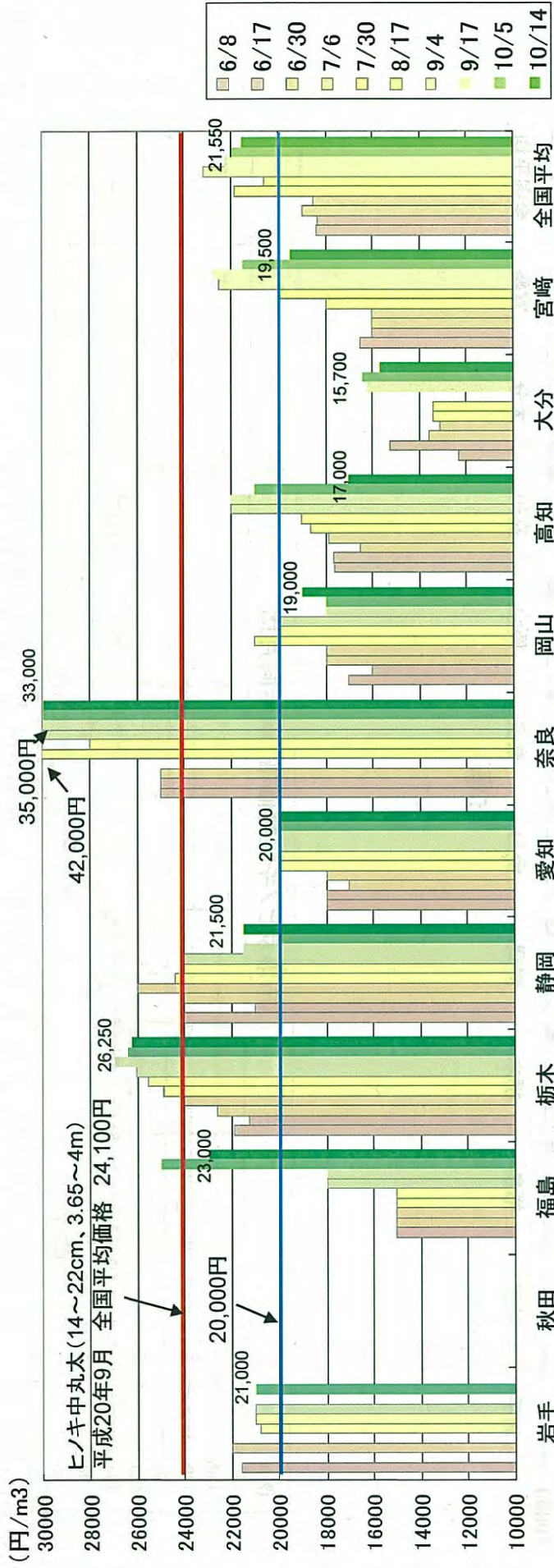


## 市場

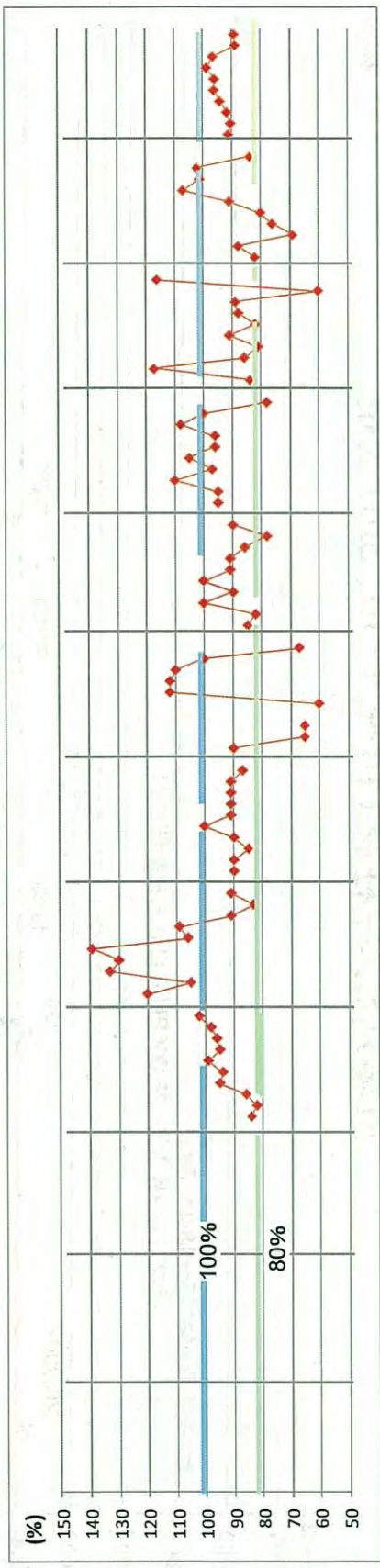




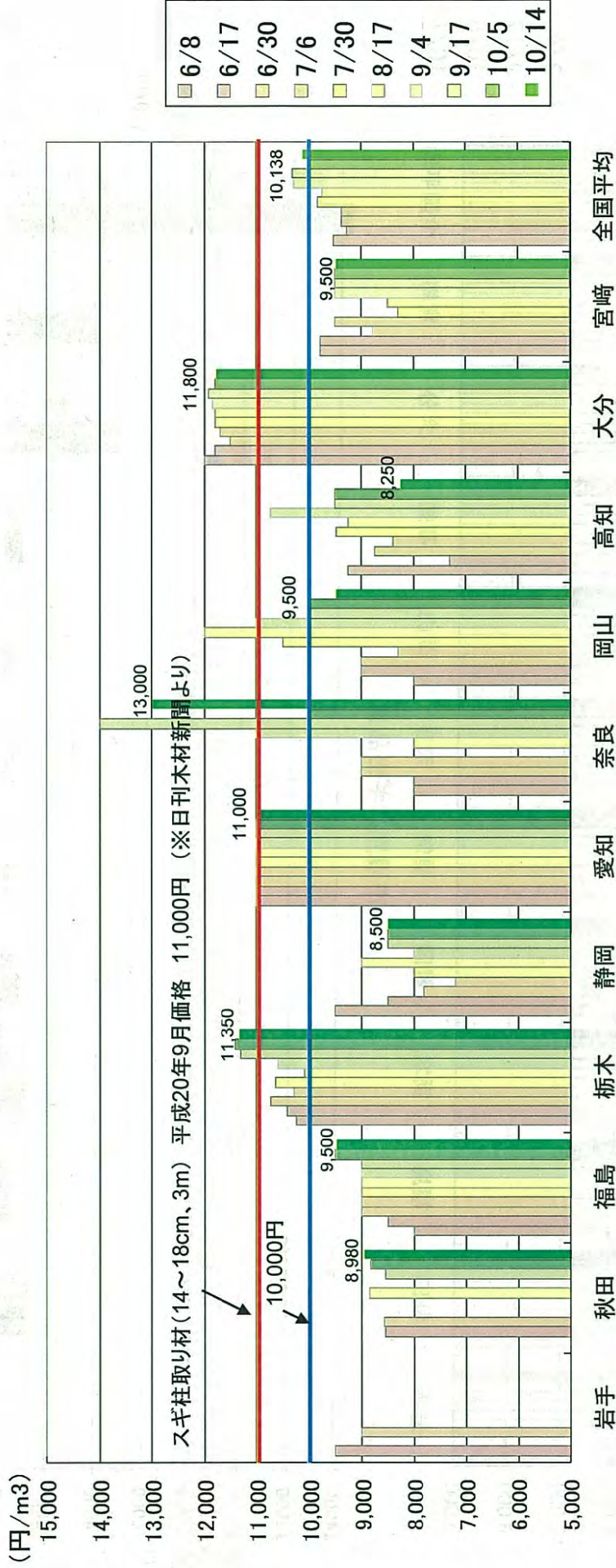
# 市場別ヒノキ中目 (20~28cm、3.65~4m) 価格



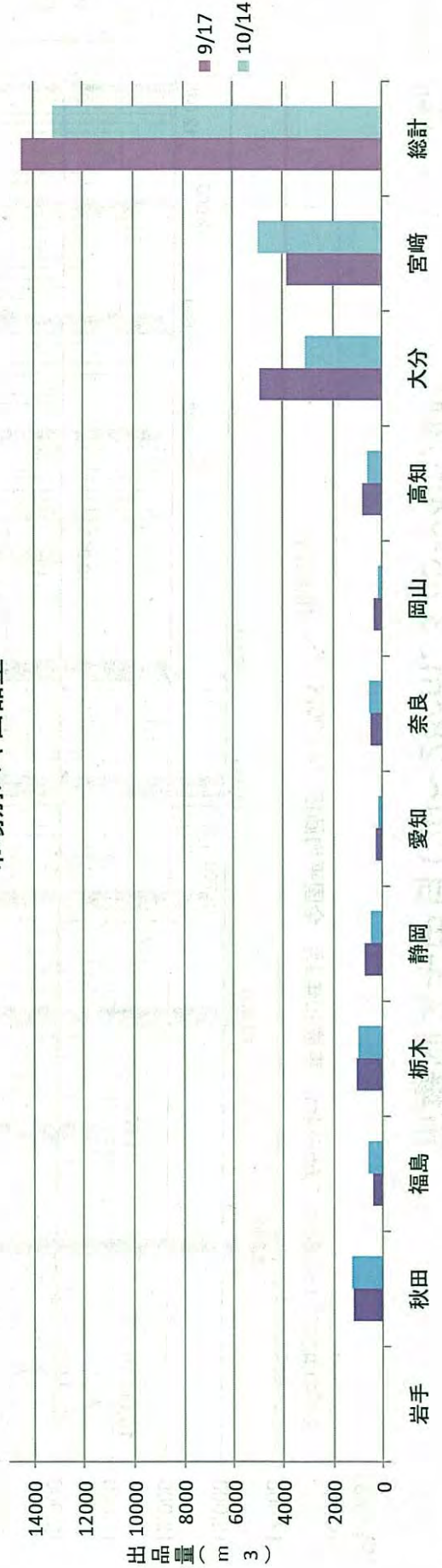
## 市場別ヒノキ中目価格 前年同月比



# 市場別スギ柱材(14~20cm、3m)価格

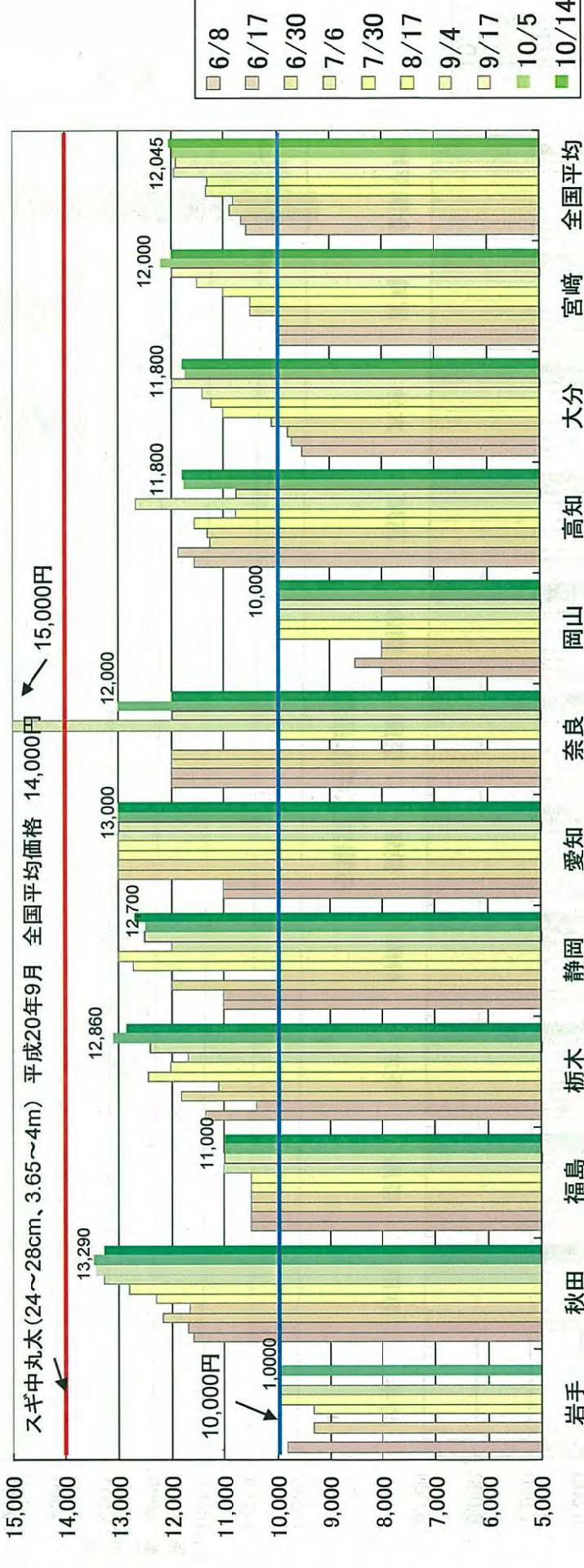


市場別スギ出品量

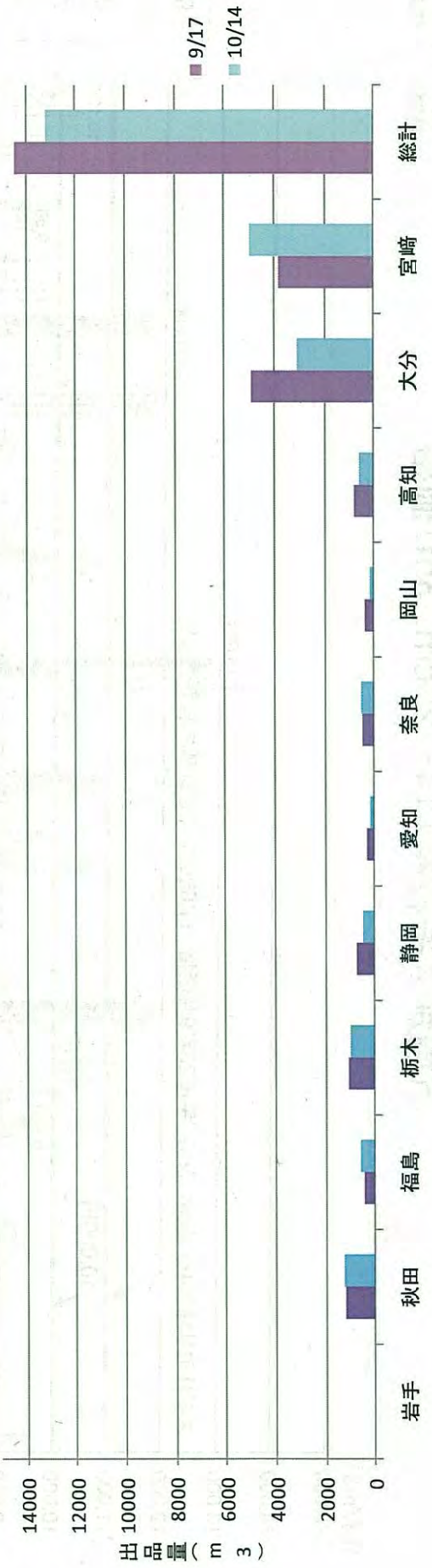


# 市場別スギ中目(20~28cm、3.65~4m)価格

(円/m3)



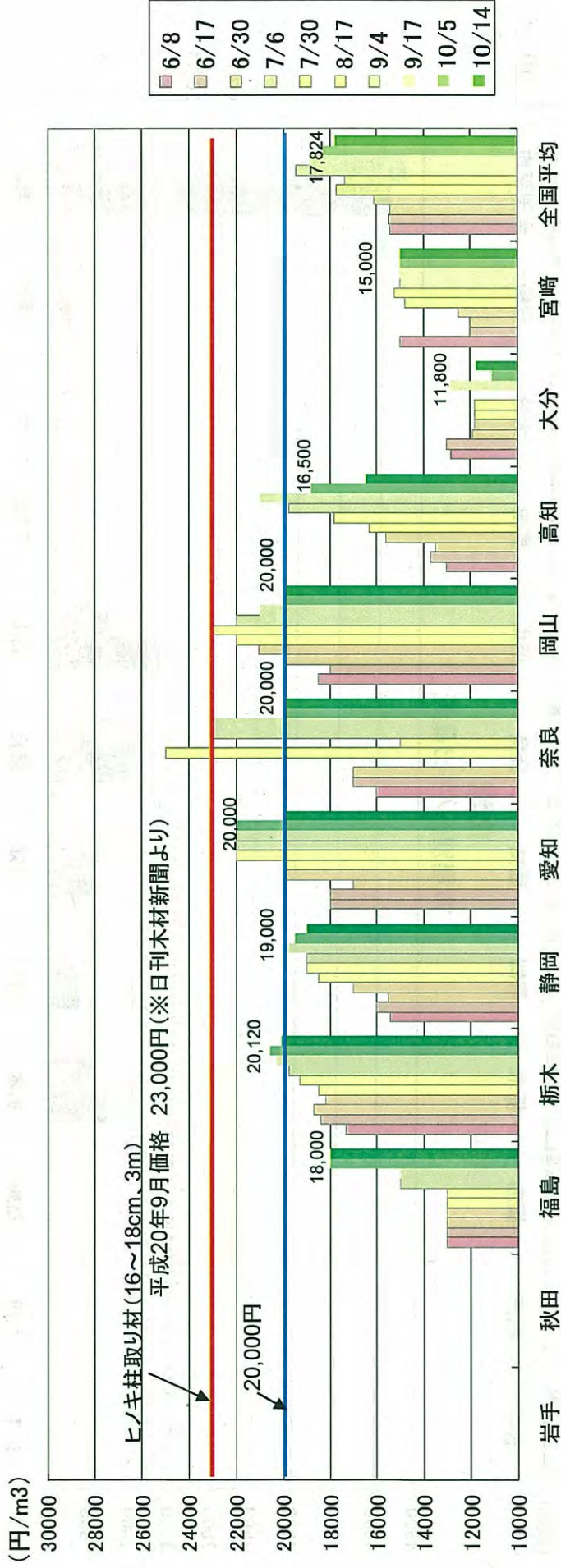
市場別スギ出品量



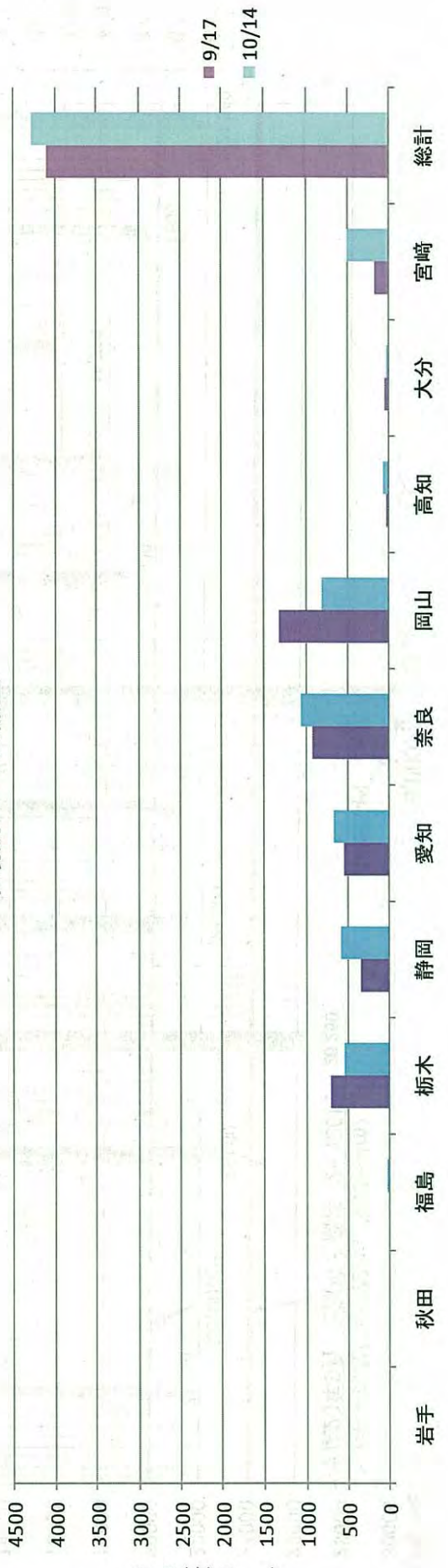


# 市場別ヒノキ柱材(14~20cm、3m)価格

平成21年10月20日  
林野庁 木材産業課

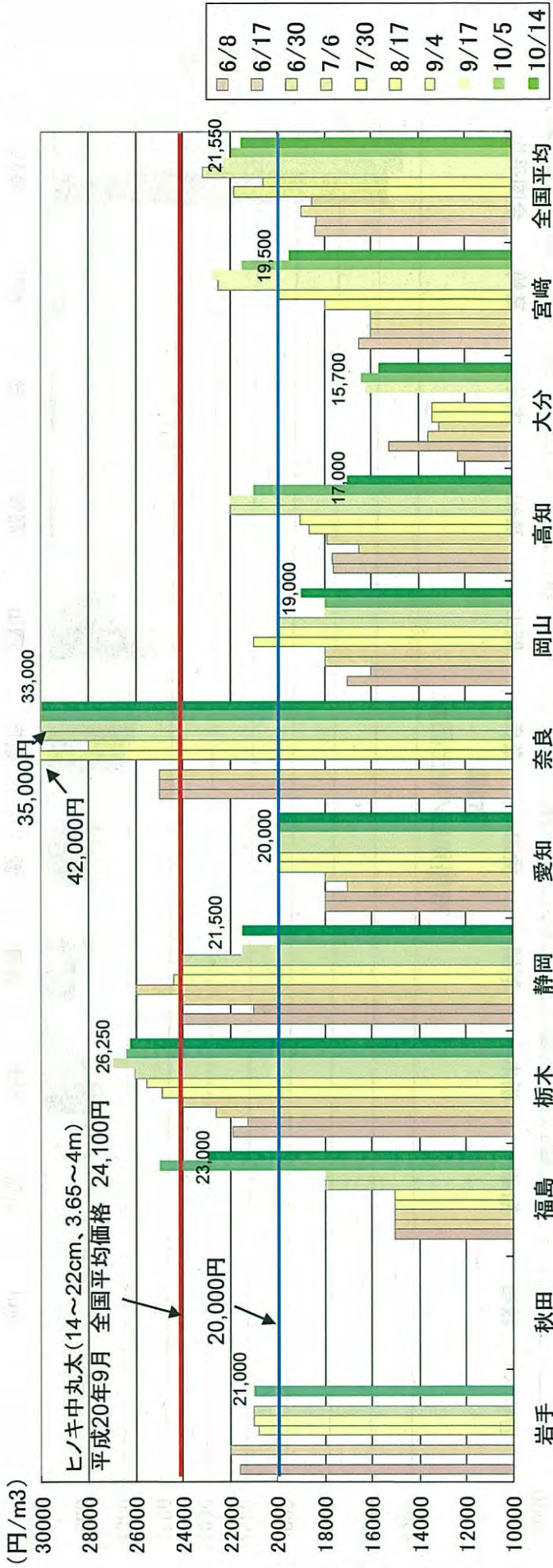


## 市場別ヒノキ出品量



# 市場別ヒノキ中目(20~28cm、3.65~4m)価格

平成21年10月20日  
林野庁 木材産業課



## 市場別ヒノキ出品量

